

今年8月、開業100年を迎えた日本最初の生駒ケーブルと、山上遊園地内の「へえ!!そうなんだ」をご案内します。



大正7年、わが国最初のケーブルカーとして「鳥居前—宝山寺」間が開業。当時、大変な評判となり宝山寺への参拝客が激増したという。また、昭和4年には生駒山上遊園地の開設に合わせて「宝山寺—生駒山上」間が開業した。この開業100周年を記念して、近畿日本鉄道と生駒市は「生駒ケーブル100周年キャンペーン」を実施し、様々なイベントが催されています。

ケーブルに乗って山上遊園地へ、お子さんやお孫さんと一緒に(それともカッフルで)ちょっと足を伸ばされては如何ですか。

日本最初の生駒ケーブルと山上遊園地

大正3年(1914)大阪電気軌道(現・近畿日本鉄道)による上本町—奈良間が開業。その4年後、大正7年(1918)8月、生駒鋼索鉄道(現・近鉄生駒鋼索線)による鳥居前—宝山寺間が開業した。日本最初のケーブルとして運行を始めた生駒ケーブルは、今年の8月に開業100年を迎えた。開業当時は大変な評判となり、宝山寺への参拝客が激増したという。

写真① ケーブル開業当初のもので、ケーブルと宝山寺参拝客を乗せた駕籠がツーショットで写っている。(現・滝寺 S.C グラウンド入口前の宝山寺第3号踏切のところ)



写真①(出所:近鉄 HP)



写真②

写真② 現在の宝山寺第3号踏切 「ブルとミケ」がすれ違い

大軌・奈良線の開通以前はどうだったのか。大阪(河内)側から宝山寺へ参詣する道筋は、宝山寺参詣道としていくつかのルートがあったが、いずれも生駒山の峠道を越えなければならなかった。その一つ、辻子谷越え道(一部は現在ハイキング道として利用)には、起点石(従是 生駒山寶山寺廿六丁)や丁石が今も残っている。



写真③ 宝山寺参詣道の起点石

「従是 生駒山寶山寺廿六丁

鷲尾山興法寺十八丁」

石切駅から徒歩7分ほど、石切神社奥の院へ向かう三叉路のところにある。

昭和4年(1929)3月、生駒ケーブルは生駒山上遊園地の開園に伴い、山上線(宝山寺—生駒山上間)が開通。戦時中、敗戦の色濃い昭和19年2月~20年7月末まで軍事専用となったが、昭和20年8月から営業再開し、今は宝山寺や生駒山上へ向かわれる人々や、沿線住民の生活路線として利用されている。

生駒はこの宝山寺の門前町として発展し、今日に至っているといつて過言ではありません。

生駒ケーブルよもやま話:

(その1)

全国で運行しているケーブルカーは23カ所(鉄道事業法に基づく運行事業者)あり、この中で最初に開業したのが生駒ケーブルですが、それ以外にも他では見られない当ケーブル線唯一の特徴があります。

* 宝山寺線が複線であること。 写真④

昭和元年(1926)に輸送力増強のため、複線化が完成。昭和19年7月、1線を撤去し(戦時中の金属供出)単線となったが、昭和28年には複線化に復活した。

* 自動車を通れる踏切 写真⑤(開業当時の写真①と同じ場所)

滝寺 S.C グラウンド入口前にある宝山寺線第3号踏切は、自動車も通行できる(大型車は不可)ケーブル線には珍しい踏切です。



写真④ 宝山寺線の複線化



写真⑤ 自動車を通れる踏切

(その2) ケーブルの起点駅は「生駒」ではなく、なぜ「鳥居前」?

開業当初の駅前には宝山寺の大鳥居(一の鳥居)があり、これが駅名の由来となった。その大鳥居は昭和57年、生駒駅前再開発に伴い、宝山寺境内(惣門前)に移設された。



写真⑥ 開業当初の鳥居前駅鉄道事務所
左に大鳥居が見える(出所 近鉄 HP)



写真⑦ 宝山寺惣門前に移設された大鳥居

(その3) ケーブルの概要

* 運転区間 宝山寺線948m 山上線1124m 高低差466m

(日本最長のケーブルは比叡山・坂本ケーブル 2025m)

* 保有車両6輛の中で「ブル&ミケ」が一番人気、その名は公募で小学生が命名したとのこと。

生駒山上遊園地

宝山寺駅で山上線に乗換えて7分、生駒山上駅に着くと、目の前に生駒山上遊園地が広がります。昭和4年に開園、いまでは県内唯一の遊園地。

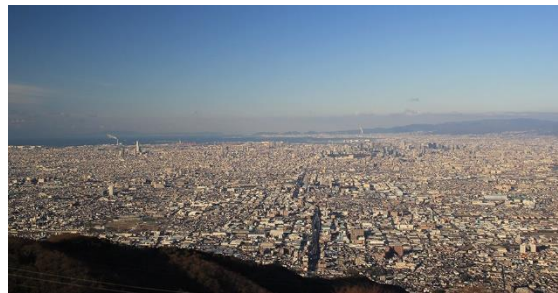
現在 27 ある乗物・施設は子供・ファミリー向け遊園地として定着している。USJなどの大型テーマパークと異なる当遊園地であるが、若者・カップルにも受け、特に夏のナイターはその人気が高い。それもそのはず、生駒山地からの夜景は「日本の夜景100選」に選ばれている。

飛行塔:

当遊園地のシンボルは、現存する最古の飛行塔である。太平洋戦争中、金属類回収令(金属供出)によって園内の大型遊具が解体搬出される中、飛行塔は海軍防空監視所として利用したためゴンドラなどは外されたものの解体は免れた。昭和20年3月14日大阪大空襲の時、この防空監視所はどれだけの役目を果たしたのであろうか。

飛行塔から眺める絶景:

世界一の高さを誇る東京スカイツリー(642m)、その展望回廊(450m)からは関東一円が広がり、天気の良い日は富士山が眺められると注目されている。それに負けず劣らないのが、当遊園地の飛行塔からの眺めである。生駒山の標高は642m、飛行塔(高さ32m)のゴンドラ(複葉飛行機)は18m上昇し旋回する。東京スカイツリーよりはるか高いところから、大阪平野・山城盆地・奈良盆地が一望できる。360度の大パノラマである。もちろん天気の良い日は明石海峡大橋も確認できて、大人も楽しめる飛行塔である。



大阪平野を望む(出所 生駒市 HP)

生駒山の一等三角点:

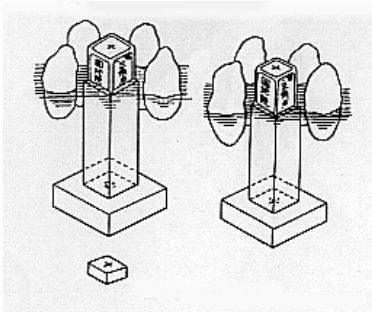
生駒山の標高は642.27m 遊園地・ミニSL列車軌道内に一等三角点が設置されている。

三角点とは三角測量を行う時に地表に埋定された(経度・緯度・標高の)基準点。一等三角点の歴史は明治4年、東京府下に13点の三角点を設置したことに始まり、大正2年にはひととりの観測が終了し、一応完成した。現在は電子基準点(GNSS連続観測点 衛星から電波を受信)も位置の基準となっており、全国に約1300カ所ある。三角点は一等から五等まであり、重要さや基本的性質から区別され、全部で約100,000点あり、そのうち一等三角点は960点ある。

一等三角点のある日本一高い山は南アルプス・赤石岳。富士山は二等三角点である。



生駒山の一等三角点



一等三角点標石の重さは柱石が90kg,盤石が45kgある。標高の高い山へ運ぶには大変な苦労があった。

左図は三角点標石の構造

(引用: 国土地理院 HP)

一等三角点を山頂に持つ山の踏破を目指す登山愛好家も多い。

天離る夷の長道ゆ恋来れば明石の門より大和島見ゆ(万葉集 卷三 二五五 柿本人麻呂)

生駒山は古代から瀬戸内の航海者にとっての標識でもあった。